Gemini 4 Carbonがもたらす知財実務の構造変革とマルチモデル戦略

Gemini 4 Carbonの技術的・経済的優位性

総合スコア59で単独首位＆長文脈探索精度96.2%達成



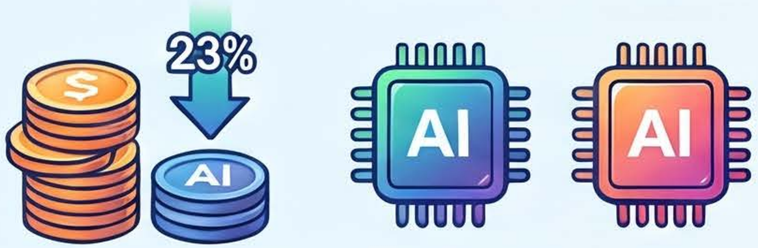
GraphWalks等で他社を圧倒し長文探索で高い精度を記録。

競合（50%）を大きく下回るハルシネーション率11%



前モデルより上昇も、主要競合比で圧倒的な事実性を維持。

同等単価のClaude Opus 5.5比でタスクコスト23%削減



出力トークン量を約29%削減し優れたコスト効率を実現。



Gemini 4 Carbon

Gemini 4 Carbonは総合知能指標「Artificial Analysis Intelligence Index v5.0」で首位を獲得したフロンティアAIモデルです。長文脈グラフ探索や高いトークン効率を強みとし、拒絶理由通知への反論やFTO調査などの知財実務を大幅に高度化・効率化します。

知財実務への影響と最適ルーティング戦略

進歩性論理構築と無効資料・FTO調査の高度化



長文脈解析とコード・脆弱性検証能力を実務に直接応用。

日米欧韓のAI法制厳格化に伴う「人間着想ログ」の必須化



人間の創作的関与や実験データの厳格な記録・区別が重要。

Carbon×Argon×他モデルによるマルチモデル検証体制



探査と保守的検証を分担させ、精度向上とリスク低減を両立。

Gemini Notebook